

高大連携に基づく女性の能力開発

お茶の水女子大学・附属高等学校 高大連携シンポジウム

本学は2005年度から附属高等学校と連携した、高大連携特別教育プログラムを推進してきました。

大学と附属高校の連携によって国語・数学・英語のカリキュラム開発を行った「教養基礎」、そして附属高校3年生が自らの関心にもとづいて大学の講義を受講する「選択基礎」といった独自の取り組みをこれまで行ってきています。

その成果を、女性の能力開発という視点から下記の通りにご報告します。どうぞふるってご参加下さい。

プログラム

挨拶 三浦 徹 (本学副学長・高大連携実施委員会委員長)

お茶の水女子大学における高大連携の現況 三浦 徹

「教養基礎」の取り組みについて 富士原紀絵 (本学大学院准教授)

「選択基礎」の取り組みについて—各学部から—

小林哲幸〔理学部〕／菅原ますみ〔文教育学部〕／香西みどり〔生活科学部〕
(本学大学院教授) (本学大学院教授) (本学大学院教授)

高大連携における高校側の取り組みについて 荻原万紀子 (本学附属高校教諭)

高大連携実践の評価 酒井 朗 (大妻女子大学教授・本学大学院客員教授)

—休憩—

女性の能力開発におけるお茶の水女子大学の取り組みの意義
勝野正章 (東京大学大学院准教授)

ディスカッション

終わりの挨拶 米田俊彦 (本学大学院教授・附属学校部長)

司会 米田俊彦

2008年1月12日(土) 14:00-17:00

お茶の水女子大学 生活科学部本館 306教室

入場無料〔最寄り駅：東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅 徒歩5分〕

* 詳細な地図は大学ホームページをご覧ください <http://www.ocha.ac.jp/>

* 問い合わせは子ども発達教育研究センターまで Tel 03-5978-5539

主催：お茶の水女子大学 高大連携実施委員会

共催：お茶の水女子大学附属学校園、子ども発達教育研究センター、特別教育研究経費事業「女性リーダー育成プログラム」